

2015 年度第 2 回阪神地区研究会
グループごとの発表内容について（詳細）

A グループ

1. ガイダンス実施の事例

初年次生対象

- ・ 図書館の使い方・OPAC の使い方・館内ツアー等の内容で実施している。
- ・ 講義形式ではなく、課題解決型のガイダンスを実施している。
- ・ グループごとに課題を与えて図書を探してもらい、「なぜその図書をえらんだのか」「図書館を利用するにあたってどういう点が良い、どういう点が苦労したか」等をまとめ、ポートフォリオを作成させて、図書館で展示している。

上級生対象

- ・ 文献検索等については教員からの申込に応じて実施している。

2. 課題

- ・ ガイダンス中に学生の集中が途切れる、寝てしまう。
- ・ 教員からの申込に応じて実施するガイダンスはあまり普及しておらず、申込が少ない。

3. 課題解決への取り組み・工夫等

- ・ 学生の集中が途切れる、寝てしまうことへの対策として、課題解決型のガイダンスを取り入れている。
- ・ 図書館で実施しているガイダンスの様子を実際に教員に見てもらったところ、教員からのガイダンス申込数が増えた。

B グループ

1. ガイダンス実施の事例

初年次生対象

- ・ 入学式時に図書館の使い方を説明し、その後希望があれば個別に実施している。
- ・ 新入生全員に iPad を使ってガイダンスを実施している。
- ・ 中高短大・大学生留学生院生を対象にしているため、オリエンテーション期間中（1週間～10日間程度）図書館を閉館して実施している。
- ・ 冒頭 25 分間は PowerPoint で説明、その後私語を許可しているスペースで図書館ツアーを行っている。
- ・ ゼミごとに実施している。

2015年度第2回阪神地区研究会 グループごとの発表内容について（詳細）

上級生対象

- ・ 1年中、1人からでも要望があれば実施している。
- ・ 希望する項目にチェックを付けてもらい、その項目に沿ってガイダンスを実施している。
- ・ 教員に指定してもらったキーワードを用いて、ツールの解説等を行っている。

2. 課題

- ・ ガイダンス中に学生が寝てしまう。
- ・ 授業の1コマをガイダンスに充てられているが、担当教員によっては、7月頃の実施になることがある。

3. 課題解決への取り組み・工夫等

- ・ 学生が寝てしまうことへの対策として、OPACを検索して、実際に図書を探して持って来てもらう等練習問題を作って、体を動かしてもらう。

Cグループ

1. ガイダンス実施の事例

初年次生対象

- ・ 概ね4~5月、長いところでは7月頃にかけて、基礎ゼミ・基礎講座等の中でガイダンスを実施している。
- ・ 図書館の利用案内と施設案内を行い、その後OPAC演習という流れで実施している。
- ・ OPACの解説については、情報リテラシー担当教員が実施している。

上級生対象

- ・ 要望に応じて実施している。
- ・ 学生からの需要が高いツール（CiNii等）ごとに検索講座を開催している。

その他

- ・ 学生と教員を対象にした自由参加のガイダンスを実施している。
- ・ 飲食可能なカフェスペースのモニターを使って、15~20分程度で実施している。

2. 課題

- ・ ガイダンスに学生が飽きてしまう。
- ・ 自由参加型ガイダンスについては、参加者が少ない。

2015 年度第 2 回阪神地区研究会
グループごとの発表内容について（詳細）

3. 課題解決への取り組み・工夫等

- ・ 学生が飽きてしまうことへの対策として、OPAC を検索してタイトルや請求記号を書いてもらうような課題を出す等して、学生が能動的に学べるような働きかけをする。
- ・ 自由参加型ガイダンスについては、参加者を増やすために、館内放送でガイダンス内容の告知を行い、貸出の時にはチラシを配布している。
- ・ ガイダンスの実施については、教員にもチラシを配布している。

D グループ

1. ガイダンス実施の事例

初年次生対象

- ・ 要望に応じて実施している。
- ・ 新入生オリエンテーション内で 30 分程度時間を確保してもらい、実施している。
- ・ 図書館の使い方・OPAC の使い方・館内ツアー等の内容で実施している。
- ・ 具体的な話には踏み込まず、CiNii でも紹介程度に留めている。
- ・ OPAC を利用した検索ゲームを行っている。
- ・ 請求記号や配架場所などを問う問題を作成して、配布している。

上級生対象

- ・ 教員からの要望に応じて実施している。
- ・ 授業のコマを確保してもらい、卒業論文執筆に向けてのガイダンスを実施している。

2. 課題

- ・ 説明中、いかに集中力を維持してもらうか、関心を持ち続けてもらうか。
- ・ ネット情報に傾倒してしまっている学生への意識付けをどう行っていくか。
- ・ 担当教員の検索ツールに対する関心の度合いが、指導を受ける学生に影響する。（教員に興味があれば、学生も関心を持ちにくい。）
- ・ 大学の授業形態や建物の事情等により、ガイダンスを実施できない場合がある。

3. 課題解決への取り組み・工夫等

- ・ 集中力を維持してもらうか、関心を持ち続けてもらうために、アクティブラーニング形式を取り入れる。

2015年度第2回阪神地区研究会 グループごとの発表内容について（詳細）

- ・ 口頭の説明だけでなく、PowerPoint等を使用して視覚的に訴える。
- ・ ガイダンス実施後に教員からのフィードバックとして、「ガイダンスを受けた学生と受けてない学生のレポートの質が目に見えて違ってくる」という声が寄せられている。

E グループ

1. ガイダンス実施の事例

初年次生対象

- ・ 資料の配布のみで対応している。
- ・ 図書館職員だけではなく、学生スタッフも参加してガイダンスを実施している。
- ・ SNSを利用し実施している。

上級生対象

- ・ 教員からの要望に応じて実施している。
- ・ 参考文献等の書き方のライティング試験を実施している。

2. 課題

- ・ 他のガイダンスと一緒にを行うため、情報が多く、学生にどこまで伝わっているのかが分からない。
- ・ ガイダンスの時間が年々短縮傾向にある。
- ・ SNSを利用した場合、どこまで効果があるのかが分かりにくく、情報が埋もれてしまう。

3. 課題解決への取り組み・工夫等

- ・ ポータルサイトでガイダンスをアピールしている。
- ・ ガイダンス後にレポート作成の課題を出している。
- ・ 主担当だけでなく、図書館職員全員で情報を共有して、担当以外でもガイダンスを実施できるようにしている。

F グループ

1. ガイダンス実施の事例

初年次生対象

2015年度第2回阪神地区研究会 グループごとの発表内容について（詳細）

- ・ ビデオ上映による図書館ツアーを実施している。

2. 課題

- ・ 学内行事の増加、人員削減等の事情から、ガイダンス時間が削減の傾向にある。
- ・ 教員によって図書館に対する理解や協力に差があるので、今後どのように働きかけをしていくか。

3. 課題解決への取り組み・工夫等

- ・ シナリオを作成し、スタッフ全員の説明に差が生じないようにしている。
- ・ メール等の情報発信をし、図書館を理解してもらうための行動を継続して行う。

G グループ

1. ガイダンス実施の事例

初年次生対象

- ・ 新入生オリエンテーション内で20分程度実施している。
- ・ 基礎演習等のゼミ単位の必修講義で時間をもらい、実施している。
- ・ 図書館オリエンテーションを欠席した場合、補講という形で必ず受けるようになっている。
- ・ 学科等の都合で対象が20名～200名と幅がある。大人数での実施の場合は全体説明後にワークシートを配布し、その後希望者は配布したワークシートに基づき、図書館で自習している。

上級生対象

- ・ 教員からの要望に応じて実施している。
- ・ 教員がガイダンス内容を選ぶ方式で、年中実施している。

その他

- ・ オリエンテーション内の20分程度で全学年対象に実施している。
- ・ 留学生対象のガイダンスを実施している。

2. 課題

- ・ 学科によってガイダンスが必修か任意かの違いがある。
- ・ 留学生対象のガイダンスは言語の問題がある。

3. 課題解決への取り組み・工夫等

2015年度第2回阪神地区研究会 グループごとの発表内容について（詳細）

- ・ 留学生対象のガイダンスには、学部学生も参加し通訳をしてくれている。
- ・ 集中力維持のため、スライドを使用し専門的な雑誌や学生が読みやすい資料を紹介している。

H グループ

1. ガイダンス実施の事例

初年次生対象

- ・ 図書館利用者案内・図書館パンフレット・PowerPoint のレジユメを配布している。
- ・ 基礎演習の時間で実施している。
- ・ 強制ではなく、自由参加型のガイダンスを実施している。
- ・ PowerPoint や DVD 「情報の達人」を視聴後、20名～30名ずつ館内ツアーを実施している。
- ・ ○×クイズを行いながら説明をしている。

上級生対象

- ・ 契約データベースの利用方法をまとめた冊子を配布している。
- ・ 教員の要望や、個人単位の参加希望があった場合に実施している。
- ・ OPAC の使い方・図書館案内・簡単なデータベースを案内する基礎編、CiNii 等の使い方を説明する応用編を分けて実施している。

2. 課題

- ・ DVD 視聴の際、学生が飽きて寝てしまう。
- ・ 必修以外のガイダンスについては広報の必要性がある。

3. 課題解決への取り組み・工夫等

- ・ 説明に○×クイズを取り入れたところ、学生の反応が多少良くなった。
- ・ 図書館職員内での経験の蓄積のため、ガイダンスをビデオに撮り、担当以外の職員に見せている。

I グループ

1. ガイダンス実施の事例

初年次生対象

2015年度第2回阪神地区研究会 グループごとの発表内容について（詳細）

- ・ 必修講義の時間でガイダンスを実施している。
- ・ ガイダンスの最後に OPAC で検索した図書を書架から探すといった演習問題を一人ずつに出題している。（自由提出）

上級生対象

- ・ 教員の要望をもとに、実施している。

2. 課題

- ・ 演習問題を出題しているが、解答まで到達できる学生とできない学生がいる。
- ・ 教員へガイダンス実施を周知するための働きかけ方。
- ・ ガイダンス内容がどれだけ学生に定着しているか、図書館の利用率は増えているか等の効果やデータを把握しきれていない。

3. 課題解決への取り組み・工夫等

- ・ 飽きさせないために、図書館サービスに関わる「本を何冊借りられるか知っていますか」等の基本的な質問を取り入れている。
- ・ 新任教員へ挨拶のメールを兼ねてガイダンスの案内を行う。
- ・ ガイダンスを請け負う業者があるため、データベース等のガイダンスに関しては業者を利用することも検討している。

Jグループ

1. ガイダンス実施の事例

初年次生対象

- ・ 図書館がスケジュールを組み実施している。
- ・ 教員からの申込に応じて実施している。
- ・ 講義室を使用し学科単位で実施している。
- ・ ゼミ単位の少人数で実施している。

2. 課題

- ・ 実施人数に関係なく、学生が寝てしまい、集中して聞いていない。
- ・ 図書を探せない学生がいる。
- ・ 初年次に受けたガイダンス内容も、実際に必要な年次になると忘れてしまう。
- ・ どのように図書館職員間でガイダンスのスキルを伝え、スキルアップしていくか。

2015 年度第 2 回阪神地区研究会
グループごとの発表内容について（詳細）

3. 課題解決への取り組み・工夫等

- ・ 学生の興味を保つため、パソコンの操作を取り入れる。1 問ずつ問題を出して解答してもらう。
- ・ 学生が書架で、目的の図書に辿り着くところまでを丁寧にサポートしながら実施している。
- ・ ガイダンスは実際に必要となる 3 年次にも実施している。